

VP-F4400E/VP-F4400EN

取扱説明書

セットアップと使い方の概要編

- プリンターを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くにご活用ください。
- 本書では VP-F4400EN のイラストを使用して説明しています。

ご使用前に

4

安全上のご注意や各部の名称など、知っておいていただきたい事項を説明しています。

プリンターをセットアップする

18

部品の取り付けからプリンタードライバーのインストールまでの作業を説明しています。

給紙と排紙

28

給紙方法、連続紙や単票紙の仕様などを説明しています。

リボンカートリッジの交換

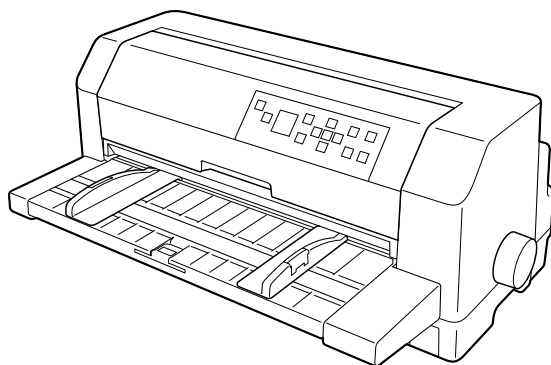
41

消耗品であるリボンカートリッジの交換手順を説明しています。

サービスとサポートのご案内

44

電子マニュアルの入手方法やサービス・サポートのご案内をしています。



414757800

マニュアルの見方

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。



重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。



参考 補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

電子マニュアルのご案内

電子マニュアルは、コンピューターやスマートフォン、タブレットから見るマニュアルです。本製品の使い方は、本書以外に以下の電子マニュアルで説明しています。

■『取扱説明書 詳細編』

Windows からの印刷方法、使用できる用紙仕様、プリンター本体の設定に関する情報、オプション品や消耗品の情報、トラブルへの対処方法、製品仕様などを説明しています。

■『ネットワークガイド』(VP-F4400ENのみ)

管理者向けにプリンターをネットワークで使用するときの設定方法やトラブルへの対処方法を説明しています。

🔗 本書 44 ページ「電子マニュアルのご紹介、入手方法と使い方」

Windows の表記

本書では、以下の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ [Windows 11] [Windows 10] [Windows 8.1] [Windows 8] [Windows 7] [Windows Vista] [Windows XP] [Windows Server 2025] [Windows Server 2022] [Windows Server 2019] [Windows Server 2016] [Windows Server 2012 R2] [Windows Server 2012] [Windows Server 2008 R2] [Windows Server 2008] [Windows Server 2003 R2] [Windows Server 2003] と表記しています。また、これらの総称として [Windows] を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2025 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルの画面およびプリンタードライバー上の表記は以下のようになります。

給紙方法	画面の表記	プリンタードライバーの表記
単票紙を用紙ガイド / 給紙補助フィーダーから手差し給紙する	単票紙 / CSF	手差し
単票紙をカットシートフィーダーから給紙する	単票紙 / CSF	カットシートフィーダー
連続紙をトラクターから給紙する	連続紙	トラクター

- 画面の表記“CSF”は、カットシートフィーダー (Cut Sheet Feeder) の略称です。
- プリンタードライバーの表記“カットシートフィーダー”は本製品に標準添付されているプリンタードライバー上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
<例>
カットシートフィーダーファーストピン、カットシートフィーダー / ピン #1

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows XP はマイクロソフト グループの企業の商標です。
- Adobe、Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 画面の表示内容やイラストは、機種や状況によって異なります。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。
- プリンター画面の設定項目は一例です。機種や設定状況によって異なります。
- QR コードは専用アプリで読み取れます。

もくじ

マニュアルの見方.....	2
もくじ.....	3
ご使用前に.....	4
製品使用上のご注意 ...	4
各部の名称と役割 ...	11
操作パネルの使い方と見方 ...	12
プリンターをセットアップする.....	18
セットアップの流れ ...	18
1. 付属品を確認する ...	20
2. 保護材を取り外す ...	20
3. 用紙ガイドを取り付ける ...	21
4. 電源に接続する ...	21
5. リボンカートリッジを取り付ける ...	22
6. 動作を確認する ...	23
7. コンピューターに接続する ...	25
8. プリンタードライバーと監視ユーティリ ティーのインストール ...	27
給紙と排紙.....	28
給紙経路と用紙 ...	28
連続紙の給紙と排紙 ...	31
単票紙の給紙と排紙 ...	34
連続紙と単票紙の切り替え ...	36
用紙が詰まったときは ...	38
リボンカートリッジの交換.....	41
サービスとサポートのご案内.....	44
電子マニュアルのご紹介、入手方法と使い方	44
各種サービス・サポートのご案内 ...	45
エプソンサービスパック ...	46
保守サービスのご案内 ...	46
お問い合わせ先.....	52












ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。
本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
 してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	 電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
 分解禁止を示しています。	 濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
 製品が水に濡れることの禁止を示しています。	 必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
 アース接続して使用することを示しています。	 特定の場所に触れることの禁止を示しています。
 高温による傷害の可能性を示しています。	

設置に関するご注意

⚠警告



本製品の通風口をふさがないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意



油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。

感電・火災のおそれがあります。



不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。

落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。

無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。



本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。

転倒などによる事故のおそれがあります。



本製品は重いので、1 人で運ばないでください。

開梱や移動の際は 2 人で運んでください。



本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。

滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。



本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。

作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

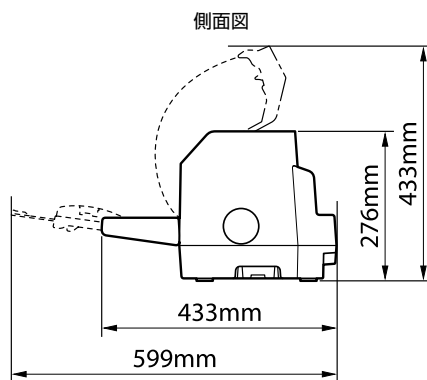
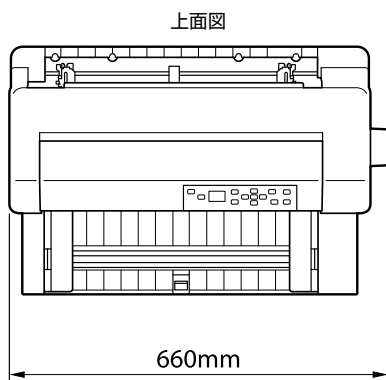
- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5～35℃）と湿度（10～80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

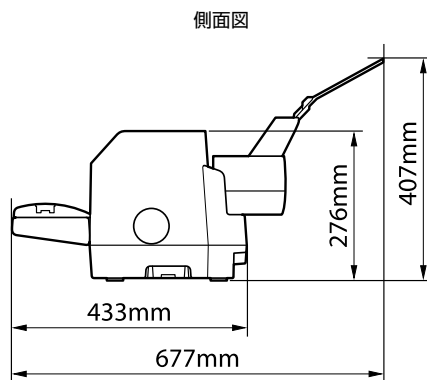
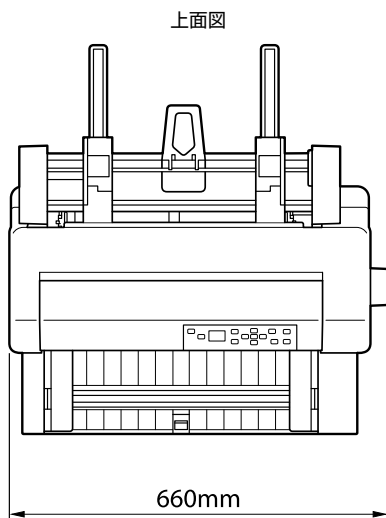
- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

！重要 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

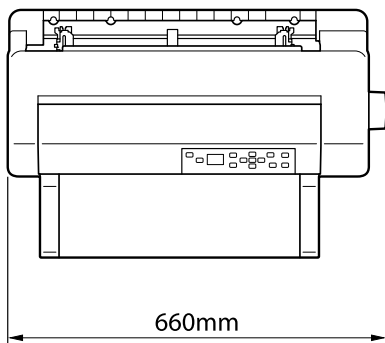
- 本製品を「プリンター底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンター底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンター本体より広く平らな面の上にプリンターを設置してください。
- 本製品をプリンター台に設置する場合は、本体重量（約 18.9kg）に耐えられるプリンター台に設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。



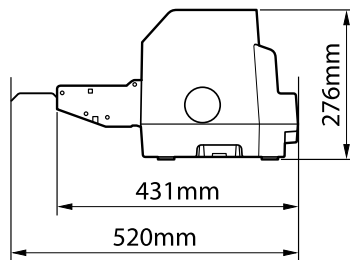
カットシートフィーダー（オプション）装着時















給紙補助フィーダー（オプション）装着時
上面図



側面図



電源に関するご注意

 警告	
 <p>AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>
 <p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンサービスコールセンターへ相談してください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードを加工しない • 電源コードの上に重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない 	 <p>テーブルトップへの接続、電源コードのたこ足配線はしないでください。 感電・火災のおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p>
 <p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>漏電事故防止のため、電源コードにアース線が付いている製品は、接地接続を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物 • 接地工事（D 種）を行っている接地端子 <p>アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へ相談してください。</p>
 <p>次のような場所にアース線を接続しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません） 	 <p>本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>

⚠️ 注意



長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠️ 警告



煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへ相談してください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。



マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。



開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります。



異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへ相談してください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。



可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。

引火による火災のおそれがあります。



アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。



お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。



各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。

発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。



製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。

感電や火傷のおそれがあります。

⚠️ 注意



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。







特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。



印刷用紙の端を手でこすらないでください。

用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

⚠️注意

 <p>各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。</p>	 <p>使用中または使用直後に、プリンターカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。</p>
 <p>本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。</p>
 <p>インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。• 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。	 <p>リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</p>

さらに以下の点も注意してください。

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含まれます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

プリンターカバー

リボンカートリッジの取り付けや交換、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。

ペーパーカッター

連続紙をミシン目で切り離すときに使用します。

用紙ガイド / 用紙サポート

用紙ガイドから単票紙を手差し給紙することができます。用紙サポートはカットシートフィーダー（オプション）から B4 縦長以上の長さの用紙を給紙するときに引き出します。通常は、プリンター側に押し込んで使用します。

エッジガイド（左右）

単票紙を用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙するときに単票紙の側面に合わせます。エッジガイドを左右に移動するとき、エッジガイドのつまみをつまんで移動させます。

操作パネル

ボタンを操作して、プリンターの機能を設定あるいは実行します。液晶ディスプレイではメニュー、設定値、メッセージを表示します。各種のランプはプリンターの状態を表示します。詳細は以下のページをご覧ください。
本書 12 ページ「操作パネルの使い方と見方」

紙送りノブ

用紙がプリンター内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出すときに使用します。通常は使用しません。
電源を入れたままの状態では回さないでください。

給紙補助フィーダーコネクタカバー / コネクタ

給紙補助フィーダー（オプション）からのケーブルを、コネクタカバーを開けコネクタに接続します。

背面

USB ポート

USB インターフェイスケーブルを接続します。

LAN ポート*

LAN ケーブルを接続します。
*VP-F4400EN のみ

スプロケット

連続紙を使用するときにスプロケットを調節して連続紙の幅に合わせ、連続紙を固定します。

パラレルインターフェイスコネクタ

パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

カットシートフィーダーコネクタ

カットシートフィーダー（オプション）からのケーブルを接続します。

センターサポート

連続紙をたわませないように保持します。

プッシュトラクター

連続紙を給紙します。

AC インレット

電源ケーブルを接続します。

内部

プリントヘッド

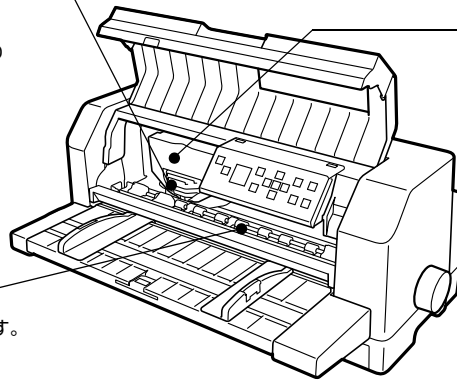
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり
分解したりしないでください。

リボンカートリッジ

印字するためのリボンを取めた物
です。
印字が薄くなったら、リボンカー
トリッジを交換してください。

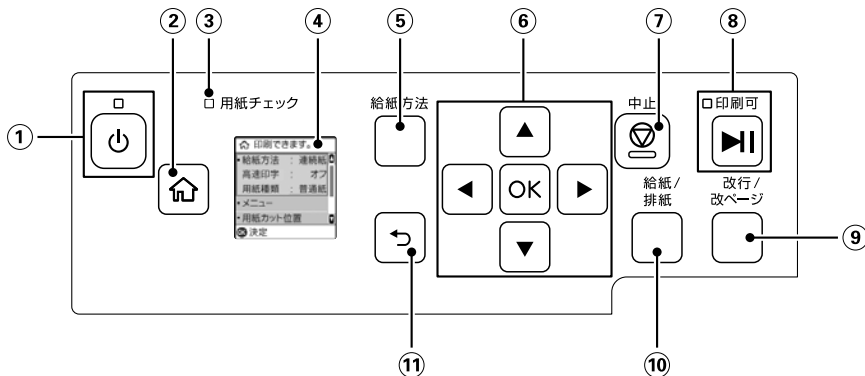
用紙押さえローラー

用紙を押さえるためのローラーです。



操作パネルの使い方と見方

ボタンとランプ



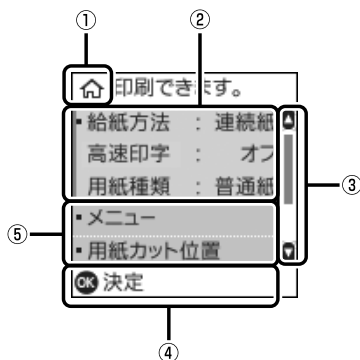
①		電源ボタン/ランプ	電源を入れたり切ったりします。
②		ホームボタン	ホーム画面を表示します。
③	[用紙チェック] ランプ		用紙の状態を表示します。
		点灯	用紙がありません。
		点滅	点滅 用紙が詰まった、または正常に排紙されませんでした。
④	液晶ディスプレイ		設定項目やメッセージを表示します。
⑤	[給紙方法] ボタン*		ボタンを押して給紙方法を切り替えます。
		連続紙	プッシュトラクターにセットされている連続紙に印刷します。
		単票紙 / CSF	用紙ガイド、給紙補助フィーダー（オプション）、またはカットシートフィーダー（オプション）にセットされている単票紙に印刷します。

⑥	▲, ▼, ◀, ▶, OK	選択ボタン	▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かしたり、画面をスクロールしたりします。[OK] ボタンでメニューの選択や設定を確定します。 用紙カット位置調整時は▲▼ボタンで用紙を微小送ります。	
⑦	⏏	中止ボタン	実行中の処理を中止します。またはプリンターをリセットします。	
⑧	▶	印刷可ボタン / ランプ	点灯	印刷可能な状態です。印刷可能状態でボタンを短く（3 秒未満）押すと待機に変わります。
			消灯	印刷できない状態です。ボタンを短く（3 秒未満）押すと印刷可能な状態になります。印刷の途中でボタンを押すと印刷が中断します。印刷を再開するにはもう一度ボタンを押します。
			点滅	印刷データを受け付けている状態です。印刷完了までお待ちください。
⑨	[改行 / 改ページ] ボタン	連続紙	ボタンを短く押すと改行します。 ボタンを押し続けると改ページします。	
		単票紙	ボタンを短く押すと改行します。 ボタンを押し続けると排紙します。	
⑩	[給紙 / 排紙] ボタン	連続紙	プッシュトラクターに連続紙をセットした状態でボタンを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でボタンを押すと、プッシュトラクター位置へ排紙します。	
		単票紙	カットシートフィーダー（オプション）から用紙を給紙します。 印刷位置に給紙された状態でボタンを押すと、排紙します。 用紙ガイドから給紙する場合は [給紙 / 排紙] ボタンを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。	
⑪	↶	戻るボタン	前の画面に戻ります。	

画面の表示

ホーム画面

ホーム画面では基本的な設定を確認したり、設定を変更したりできます。



①	ホーム画面です。
②	ショートカットメニューです。給紙方法、高速印字、用紙種類の設定を表示します。 フォーカスして [OK] ボタンを押すと、給紙方法、高速印字、用紙種類の設定画面が表示され、設定の変更ができます。
③	ホーム画面の表示している位置を示します。
④	状況に応じて有効なボタンと操作を表示します。
⑤	その他の設定・機能を表示します。 ▲、▼でフォーカスして [OK] ボタンを押すと、その項目の画面を表示します。

ホーム画面での設定項目

項目名	説明と設定値	
給紙方法	連続紙	プッシュトラクターにセットされている連続紙に印刷します。
	単票紙 / CSF	用紙ガイド、給紙補助フィーダー (オプション)、またはカットシートフィーダー (オプション) にセットされている単票紙に印刷します。
高速印字	オフ	通常で速度で印字します。
	オン	文字パターンのドットを間引きして、通常より高速で印字*します (DOS 環境下で有効)。 試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。ただし、印字品質は低下します。
用紙種類	普通紙、ハガキ、封筒が選択できます。	
メニュー	プリンターの設定値を変更することができます。 詳細は「取扱説明書-詳細編」(電子マニュアル)、または「ネットワークガイド」(電子マニュアル)をご覧ください。	
用紙カット位置	連続紙を用紙カット位置まで紙送りします。 ☞「取扱説明書 詳細編」(電子マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」	
リボン交換	リボンカートリッジ交換手順を案内します。	

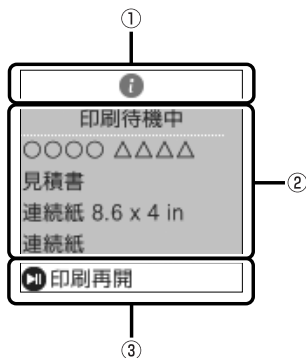
*: Windows 環境下で高速印字をするには、プリンタードライバーの [印刷速度] で [高速] を選択してください。
☞「取扱説明書 詳細編」(PDF マニュアル) - 「Windows で印刷する」 - 「設定項目」

ジョブ情報画面

Windows から印刷ジョブを受け取ると、ジョブ情報画面を表示します。プリンタードライバーで [ジョブ情報] として文字列を入力しておく、その情報を表示することができて印刷ジョブの識別に役立ちます。

アプリケーションソフトにより表示項目や内容が異なる場合があります。

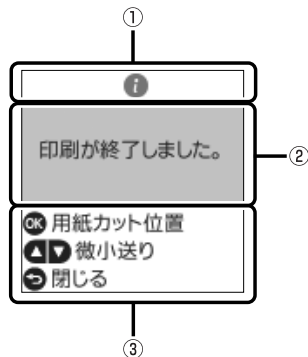
📖 『取扱説明書 詳細編』 (電子マニュアル) - 「Windows で印刷する」 - 「設定項目」 - 「用紙サイズと給紙方法」



①	情報表示画面です。
②	プリンタードライバーで設定した以下の印刷ジョブの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• ユーザー名• ジョブ情報• 用紙サイズ• 給紙方法
③	有効なボタンと操作が表示されます。

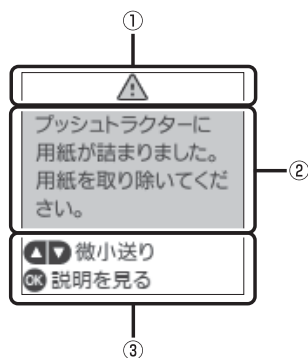
参考	<ul style="list-style-type: none">• プリンタードライバーで、[用紙確認] の付いた給紙方法を選択することにより、印刷開始前にジョブ情報を表示させて印刷を待機させることができます。印刷する用紙を確認するのに便利です。 📖 『取扱説明書 詳細編』 (電子マニュアル) - 「Windows で印刷する」 - 「印刷設定項目」 - 「用紙サイズと給紙方法」• プリンタードライバーで、[ジョブ情報] にチェックが付いていないとドキュメント名が表示されます。
-----------	--

印刷終了時画面



①	情報表示画面です。	
②	印刷ジョブが終了しました。	
③	有効なボタンと操作が表示されます。	
	OK	連続紙を用紙カット位置まで送ります。
	▲、▼	用紙を前または後ろに微小送りします。
	↶	ホーム画面に戻ります。

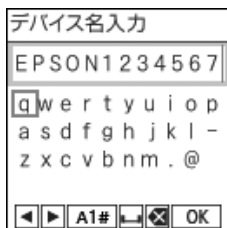
エラー表示画面



①	エラーが発生しました。	
②	エラー内容が表示されます。	
③	有効なボタンと操作が表示されます。[OK] ボタンでエラー回復方法を案内します。	

文字入力画面

ネットワーク設定時の数字や文字、記号の入力は、▲▼◀▶ ボタンと画面に表示されるキーボードを使います。▲▼◀▶ ボタンで入力したい文字やファンクションキーを選択して、[OK] ボタンを押します。入力が全て終わったら OK を選択して、[OK] ボタンで決定します。




ファンクションキー	説明
◀ ▶	左右に 1 文字分、カーソルを移動します。
A1#	入力文字種を切り替えます。英数字や記号を入力できます。
[]	スペースを入力します。
[X]	左側に 1 文字ずつ削除します (バックスペース)。
OK	入力した文字を確定します。

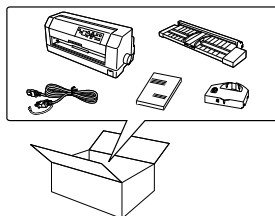
プリンターをセットアップする


プリンターを箱から取り出し、プリンターが使用できるようにセットアップします。

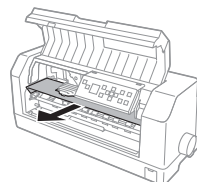
セットアップの流れ


セットアップは以下の手順で行います。

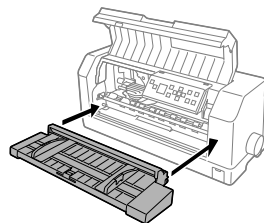
1 付属品を確認する  20ページ




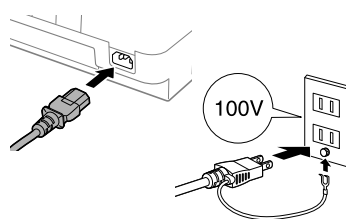
2 保護材を取り外す  20ページ




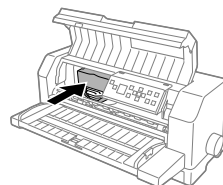
3 用紙ガイドを取り付ける  21ページ



4 電源に接続する  21ページ



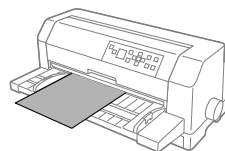
5 リボンカートリッジを取り付ける  22ページ



6 動作を確認する

☞ 23ページ

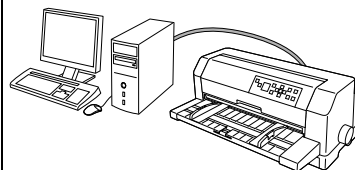
プリンターが問題なく使用できるかどうかを確認します。



7 コンピューターに接続する

☞ 25ページ

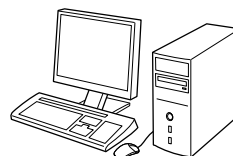
お手持ちのケーブルでプリンターとコンピューターを接続します。



8 プリンタードライバーと監視ユーティリティをインストールする

☞ 27ページ

Windows で使用するには、プリンタードライバーやユーティリティソフトなどをコンピューターにインストールする必要があります。それらはエプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

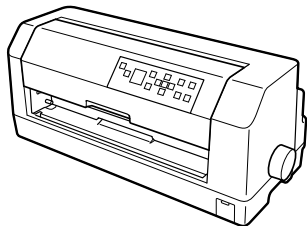


1. 付属品を確認する

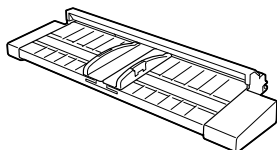
次のものが揃っていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

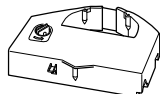
- プリンター本体



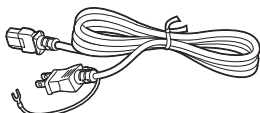
- 用紙ガイド



- リボンカートリッジ (黒)



- 電源ケーブル



- 取扱説明書
セットアップと使い方の概要編 (本書)

- 保証書

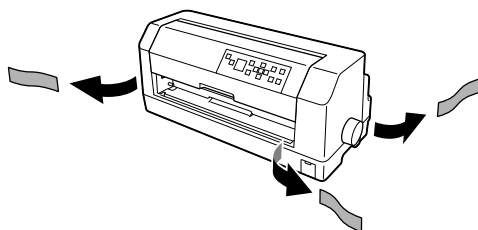
上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材を取り外す

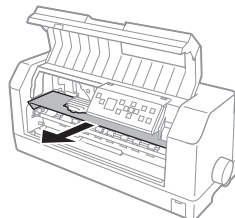
プリンター輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンターに取り付けられています。

全ての保護材とテープ (青色) を取り外してください。保護材の形状や個数、貼り付け場所などは予告なく変更されることがあります。

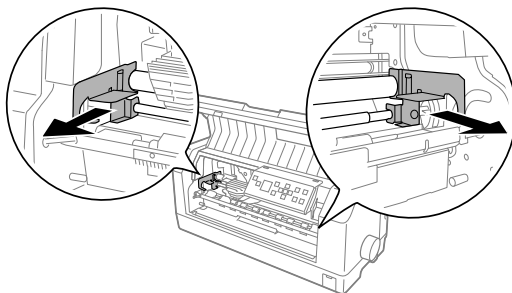
- 1 テープをはがします。



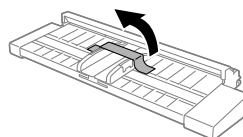
- 2 プリンターカバーを開けて、保護材を手前に引いて取り外します。



- 3 プリンター内部の左右にある保護材を手前に引いて取り外します。



- 4 用紙ガイドのテープをはがします。



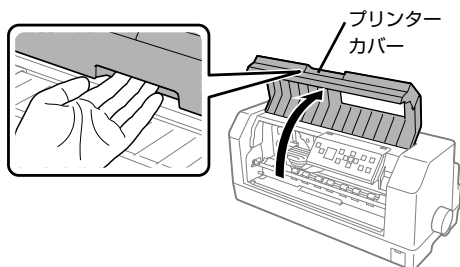
！重要

- 梱装箱、梱包材、保護材などは、プリンターの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル)－「付録」－「プリンターのお手入れと運搬」－「プリンターの運搬」
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

3. 用紙ガイドを取り付ける

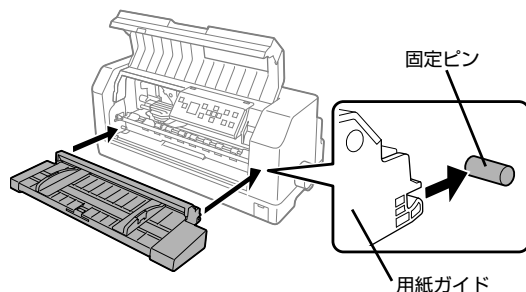
同梱されている用紙ガイドをプリンターに取り付けます。

1 プリンターカバーを開けます。



2 用紙ガイドを取り付けます。

用紙ガイドを両手で持ち、少し傾けた状態でフック部分をプリンターの左右の固定ピンに合わせ、ゆっくり用紙ガイドを下ろします。



以上で用紙ガイドの取り付けは終了です。

4. 電源に接続する

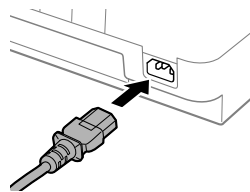
電源コードを電源コンセントに接続します。

！注意

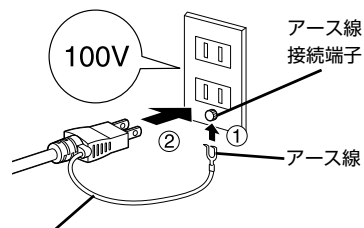
「ご使用前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。

☞ 本書 4 ページ「ご使用前に」

1 プリンター背面の AC インレットに電源ケーブルを差し込みます。



2 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。



アース線は、コンセントにアース線の接続端子がある場合のみ接続します。

！参考

漏電による事故防止について

本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へ相談してください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

！重要

- 電源プラグをコンピューター背面のコンセントに接続しないでください。
- 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

5. リボンカートリッジを取り付ける

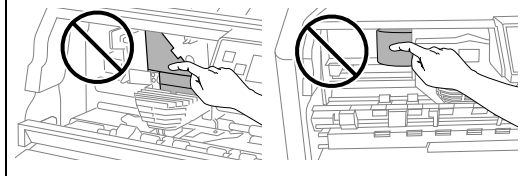
同梱されているリボンカートリッジをプリンターに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

参考

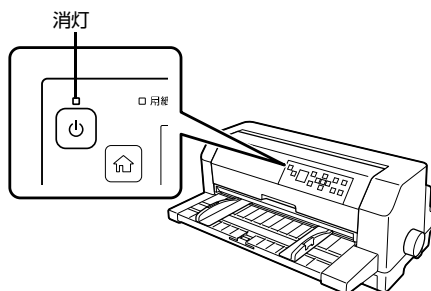
- リボンカートリッジの取り付け手順はエプソンのホームページ (epson.jp) でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ交換 VP-F4400」と入力すると、対象のFAQが表示されます。また、操作パネルのホーム画面から QR コードを表示させ、説明を見ることもできます。
☞ 本書 14 ページ「画面の表示」
- カラーリボンカートリッジ (型番 :VP4000CRC) を装着してもモノクロ印刷しかできません。

!重要

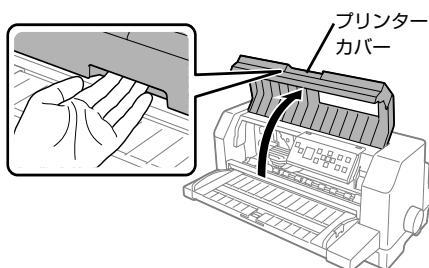
- プリンターの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。



1 プリンターの電源が切れていることを確認します。



2 プリンターカバーを開けます。



リボンカートリッジの取り付けやすい位置にプリントヘッドがない場合は、プリンターカバーを閉じてから電源を入れ、ホーム画面で、[リボン交換] を選択します。

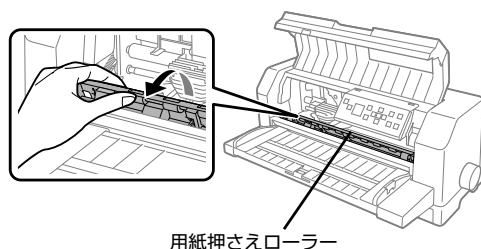


プリントヘッドがリボンカートリッジ交換位置に移動し停止したことを確認してから、電源を切ってください。プリントヘッドの移動には数秒かかります。

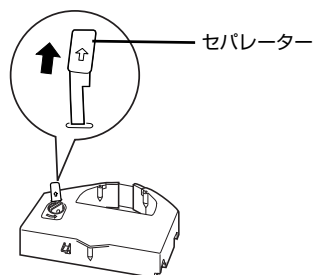
!重要

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

3 用紙押さえローラーを手前に起こします。



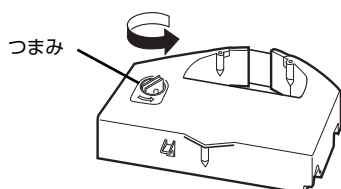
- 4 セパレーターが付いているリボンカートリッジの場合はセパレーターを引き抜きます。



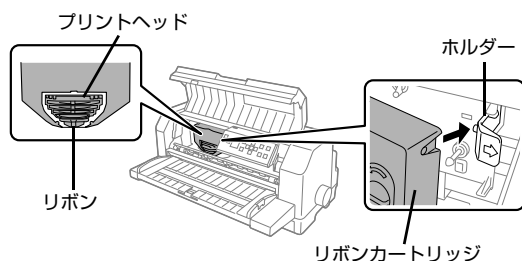
！重要

セパレーターにはインクが付着しています。皮膚や衣服を汚すおそれがありますので注意してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けんで洗い流してください。

- 5 リボンのたるみを取ります。
リボンカートリッジのつまみを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

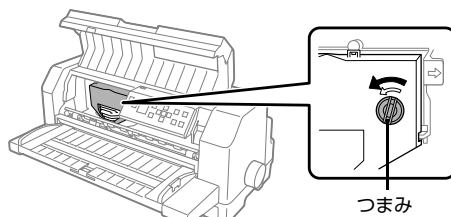


- 6 リボンカートリッジを取り付けます。
リボンカートリッジを両手で持ち、プリントヘッドの下にリボンを通します。
リボンカートリッジ両端の穴を、ホルダー左右の突起に合わせてゆっくり押し込みます。

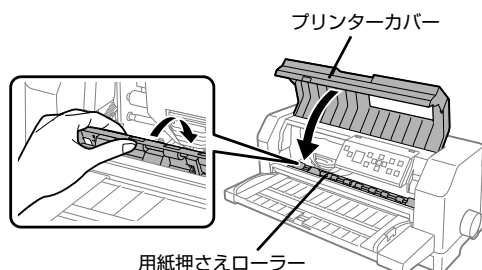


カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

- 7 リボンカートリッジのつまみを回して、リボンが自由に動くことを確認します。



- 8 用紙押さえローラーを元に戻してから、プリンターカバーを閉じます。



続いてプリンターの動作確認を行います。

6. 動作を確認する

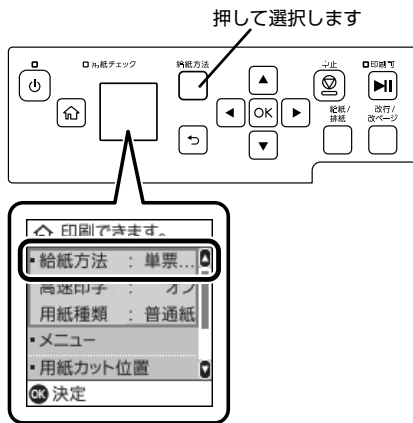
プリンターが正常に動作するかどうかをプリンター内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。

参考

- A4 より小さいサイズを使用すると用紙からはみ出して印刷します。
- 動作の確認は連続紙(用紙幅 228.6mm(9.0 インチ)以上)でもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
📖 本書 31 ページ「連続紙の給紙と排紙」

- 1 プリンターの電源を入れます。

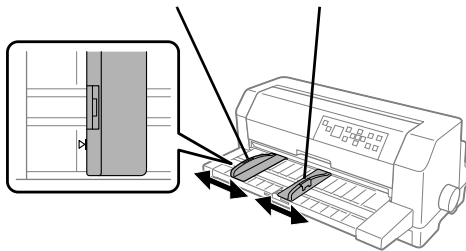
2 [給紙方法] ボタンを押して [単票紙 / CSF] を選択した後、電源を切ります。



3 エッジガイドのつまみをつまんで動かして、エッジガイド位置を調整します。

エッジガイド (左) を用紙ガイドのマーク (D) に合わせて、エッジガイド (右) を使用する用紙の幅に合わせて。ここでは、A4 サイズの単票紙を縦方向にセットします。

- ①つまみをつまんでマークに合わせます
- ②つまみをつまんで用紙のサイズに合わせます

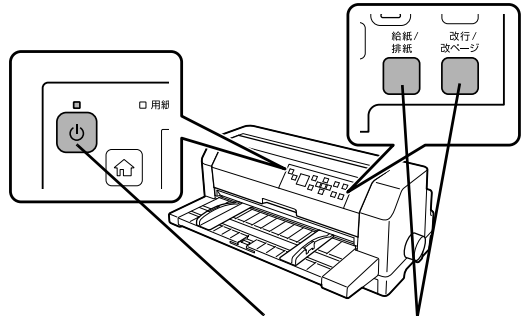


参考

左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに動くようにエッジガイドの位置を合わせてください。

4 [改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのボタンを押したまま電源を入れます。

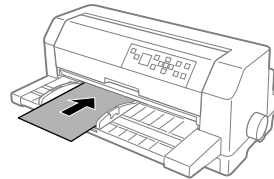
- [給紙 / 排紙] ボタンの押下で漢字モード印字をします。
- [改行 / 改ページ] ボタンの押下で英数カナ文字モード印字をします。



どちらかのボタンを押したまま、電源を入れます

5 単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。

エッジガイドに沿って単票紙を一枚差し込みます。単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。



<印刷結果例 (一部抜粋してあります)>

・漢字モード

```

...  .  °  ;  “  ”  (  )  ;
∞  ∴  ♀  ♀  °  /  “  °  C
↑  ↓  =  €  ≡  ≡  ≡  C
#  ♪  ♪  †  ‡  †  †  †  O  O
S  T  U  V  W  X  Y  Z
    
```

・英数カナ文字モード

```

!"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
!"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
;%&'()*+,-./0123456789:;
    
```

参考

印刷中に [印刷可] ボタンを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。用紙は手前に排紙されます。1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

6 動作確認を終了します。

【印刷可】 ボタンが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンターに用紙が残っているときは、【給紙／排紙】 ボタンを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

！重要

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

7 印刷結果を確認します。

6 の印刷結果のように印刷されていればプリンターは正常に動作しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンターが動作しない、などのトラブルが発生したときは「取扱説明書 詳細編」(PDF マニュアル) を参照して解決してください。

☞ 本書 44 ページ「電子マニュアルのご紹介、入手方法と使い方」

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタードライバなどをインストールします。

7. コンピューターに接続する

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルまたは USB インターフェイスケーブルでコンピューターにローカル接続するか、VP-F4400EN では Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

ローカル接続

本製品は、以下の接続方法でコンピューターとローカル接続してください。

- パラレル接続
- USB 接続

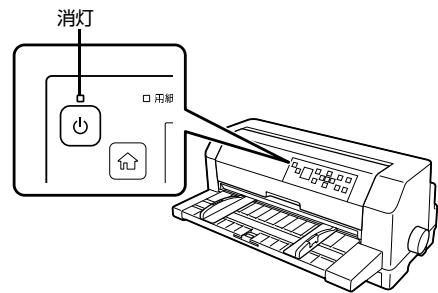
参考

お使いのコンピューターや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

以下の純正ケーブルの使用をお勧めします。純正品以外のケーブルを使用すると、正常に印刷できない場合があります。

- パラレルインターフェイスケーブル：型番 PRCB4N
- USB インターフェイスケーブル：型番 USBCB2

1 プリンターとコンピューターの電源が切れていることを確認します。

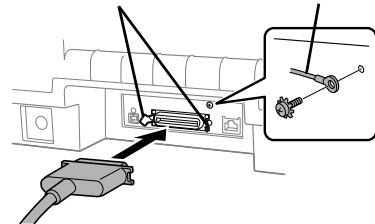


2 インターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。

パラレルインターフェイスケーブル：

コネクター固定金具

FG 線

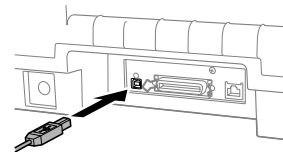


パラレルインターフェイスケーブルをプリンター側のパラレルインターフェイスコネクターにしっかり差し込み、左右のコネクター固定金具を内側に倒して固定します。

ケーブルに FG 線 (グラウンド線) * が付いているときは、コネクターの上にある FG 線取り付けネジを使って接続します。

*FG (グラウンド) 線：プリンターとコンピューターとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線。

USB インターフェイスケーブル：



USB インターフェイスケーブルをプリンター側のコネクターにしっかり差し込みます。

3 もう一方のコネクターをコンピューターのコネクターに接続します。

コネクターをコンピューターのコネクターに差し込みます。

以上でコンピューターとの接続は終了です。
コンピューター側の接続については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

参考

USB インターフェイスクーブルの場合は、以下の点をご確認ください。

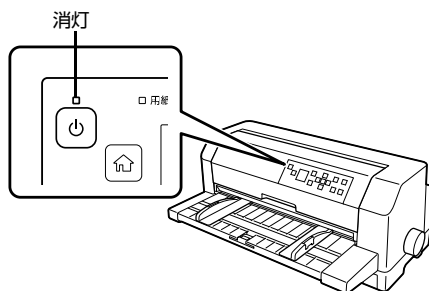
- ケーブルのコネクターには、表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください
- USBインターフェイスクーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んで問題ありません
- USB ハブを使用する場合は、コンピューターに一番近いUSB ハブへ接続してください

ネットワーク接続 (VP-F4400EN のみ)

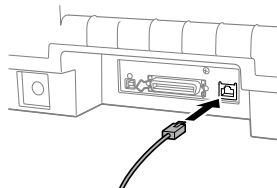
!重要

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチング HUB では正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。
- ネットワーク設定詳細については「ネットワークガイド」(電子マニュアル)を参照してください。エプソンのウェブサイトから入手できます。
📖 本書 44 ページ「電子マニュアルのご紹介、入手方法と使い方」

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。



2 Ethernet ケーブルを接続します。



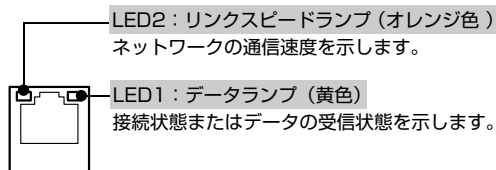
3 ケーブルのもう一方のコネクターを、HUB の空いているポートに差し込みます。

コンピューターへのケーブルの接続については、コンピューターの取扱説明書を参照してください。

以上でコンピューターとの接続は終了です。

参考

ランプの状態



LED1	LED2	状態
点灯	点灯	100BASE-TX で接続中
点滅		100BASE-TX でデータ受信中
点灯	消灯	10BASE-T で接続中
点滅		10BASE-T でデータ受信中
消灯	消灯	スリープモード
消灯	消灯	未接続

8. プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール

Windows プリンタードライバーやプリンター監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタ 3）などのソフトウェアをエプソンのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。

- 1 以下のウェブサイトアクセスして、製品型番を入力して検索します。
< epson.jp/support/ >
- 2 製品のサポートメニューから「ドライバー・ソフトウェアダウンロード」を選択します。
- 3 画面の指示に従い、必要なソフトウェアをダウンロードします。
- 4 ダウンロードしたソフトウェアを実行してインストールしてください。

参考

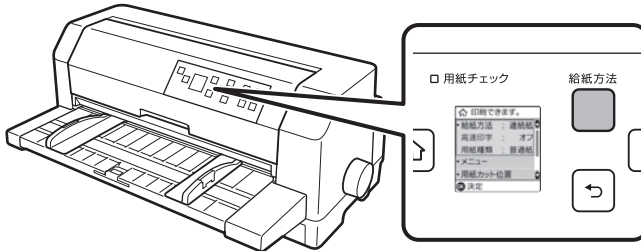
- Windows で表示されるプリンター名は、VP-F4400E は EPSON VP-F4400 ESC/P、VP-F4400EN は EPSON VP-F4400N ESC/P です。
- EPSON ステータスマニタ 3 は、プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。監視できるプリンターの接続形態は以下です。
 - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンター
 - Windows 共有プリンター
 - TCP/IP 接続プリンター（VP-F4400EN）双方向通信をサポートしていないコンピューターでは使用できません。
- Windows プリンタードライバーを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールしないようにしてください。
- VP-F4400E、VP-F4400EN のプリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 は VP-F4400、VP-F4400N と共通です。
- 最新の OS 対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
< epson.jp/support/taiou/os/ >

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品には以下のような給紙経路があり、プリンタードライバー（Windows）や操作パネル上の【給紙方法】ボタンで、使用する用紙種類に応じた設定に切り替えます。



用紙種類	給紙経路	給紙方法設定	給紙方法
連続紙 <ul style="list-style-type: none"> 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙） 複写紙は最大9枚（オリジナル+8枚）まで可 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可 		連続紙	プッシュトラクターから連続紙を給紙します。
単票紙 ハガキ 封筒 <ul style="list-style-type: none"> 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙）、ハガキ、封筒 複写紙は最大9枚（オリジナル+8枚）まで可 単票ラベル紙は使用不可 単票複写紙/ハガキ/封筒は、用紙ガイド、給紙補助フィーダーまたはカットシートフィーダーから給紙します 		単票紙 / CSF	用紙ガイド / 給紙補助フィーダー（オプション）から用紙を手差し給紙します。
		単票紙 / CSF	カットシートフィーダー（オプション）から用紙を自動給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

📄『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

●連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙	ラベル紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙 (オリジナル + 8枚まで)	上質紙
用紙幅 (台紙幅)	101.6～406.4mm (4～16インチ)		
ページ長 (台紙ページ長)	101.6～558.8mm (4～22インチ)		
用紙厚	0.065～0.19mm	0.12～0.62mm	0.16～0.19mm (台紙含む)
用紙連量	45～135kg (坪量 52～157g/m ²)	34～50kg (坪量 40～58g/m ²) (1枚当たり)	—

※用紙連量は、四六判紙（788×1091mm²）1000枚の質量を kg で表したものです。

※坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m² で表したものです。

参考

プリンタードライバーでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

- ① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。
- ② プリンタードライバー上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch× 縦 4.67inch の用紙とします）。
- ③ プリンタードライバーの【用紙サイズ】リストから、8×4.67inch に合うサイズとして、「15×4 2/3inch」を選択します。プリンタードライバー上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。

●単票紙（単票複写紙）

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙 ^{*2}
品質		上質紙 ^{*1} 、普通紙、PPC用紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙 ^{*2}
用紙幅	用紙ガイド	90～420mm (3.5～16.5インチ)	
	給紙補助フィーダー	100～420mm (3.9～16.5インチ)	
	カットシートフィーダー		
用紙長	用紙ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ● 1枚紙および天のり綴じの場合 80～420mm (3.15～16.5インチ) ● 横のり綴じの場合 80～297mm (3.15～11.7インチ) 	
	給紙補助フィーダー		
	カットシートフィーダー	92～364mm (3.6～14.3インチ)	
用紙厚	用紙ガイド	0.065～0.19mm	0.12～0.62mm
	給紙補助フィーダー		
	カットシートフィーダー	0.08～0.12mm	
用紙連量	用紙ガイド	45～135kg (坪量 52.3～157g/m ²)	34～50kg (坪量 40～58g/m ²) (1枚当たり)
	給紙補助フィーダー		
	カットシートフィーダー	55～70kg (坪量 63.9～81.3g/m ²)	

*1: 本書では、上質紙、普通紙、PPC用紙を総称として、上質紙と表記します。

*2: カットシートフィーダーから複写紙を給紙する場合は、ノンカーボン紙を使用し、裏カーボン紙は使用しないでください。

※給紙補助フィーダー、カットシートフィーダーはオプションです。

取り付け、使い方は以下を参照してください。

📄『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」

※用紙連量は、四六判紙（788×1091mm²）1000枚の質量を kg で表したものです。

※坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m² で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	前から給紙 (用紙ガイド / 給紙補助フィーダー (オプション))		CSF (オプション)	
	一枚紙	複写紙	一枚紙	複写紙*
A3 (297×420mm)	縦長、横長	縦長、横長	横長	横長
A4 (210×297mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A5 (148×210mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105×148mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B4 (257×364mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B5 (182×257mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長

* : カットシートフィーダー (オプション) では横のり複写紙は使用できません。

●ハガキ

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ (通常ハガキ)	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	約 0.22mm	

ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	前から給紙	CSF (オプション)
通常ハガキ (100×148mm)	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ (148×200mm)	縦長、横長	縦長、横長

●封筒

項目	詳細
品質	クラフト紙、ケント紙
用紙厚 (総厚)*	0.12 ~ 0.46mm

* : ただし、印字推奨領域内における紙厚差は 0.25mm (0.01 インチ) 以下とします。

☞ 『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「封筒」 - 「印字推奨領域と給紙方向」

ヘッドギャップの設定

給紙する用紙の厚さに合わせて手動でヘッドギャップの設定をすることができます。通常は [自動] の設定のままお使いください。

[自動] の設定では自動的に測定をして用紙種類や枚数に合わせてヘッドギャップを調整し、印刷します。

☞ 『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「プリンターの設定値を変更する」 - 「操作パネルからの設定」 - 「プリンター設定メニューの説明」

!重要

- 厚紙や特殊紙に印刷する際は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定するときは、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。ヘッドギャップの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- ハガキを使用するときは、[ヘッドギャップ] を [自動] または [2] に設定してください。次に [用紙種類] で [ハガキ] を設定してから印刷してください。
☞ 本書 14 ページ「ホーム画面」
- 用紙の厚さに対してヘッドギャップの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、リボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。

連続紙の給紙と排紙

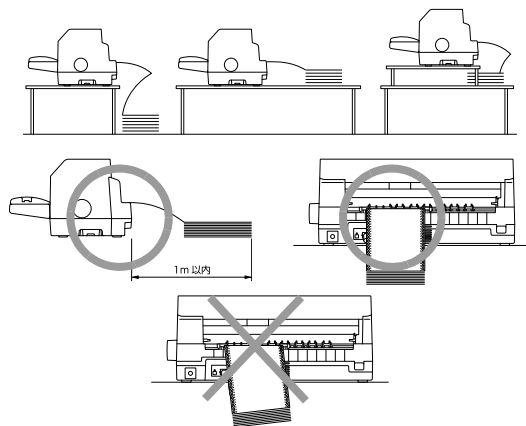
！重要

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対に行わないでください。

- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態で、トラクターから用紙を外して引き抜く。
- プリンターの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] ボタンを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンターの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンター内部に送る。

連続紙はプリンター背面のプッシュトラクターから給紙します。

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンターをお使いください。



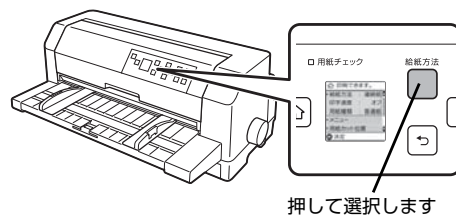
参考

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンターを配置してください。
- 連続紙が引っかからないよう、プリンターに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

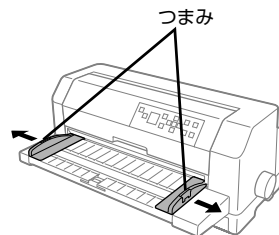
給紙

1 プリンターの電源を入れます。

2 [給紙方法] ボタンを押して「連続紙」を選択します。

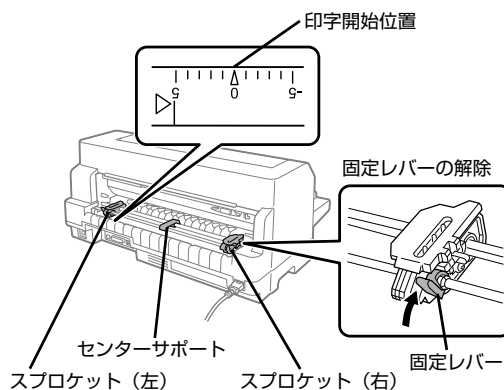


3 エッジガイドのつまみをつまんで動かし、左右いっぱいに広げます。



4 スプロケットの固定レバーのロックを解除し、連続紙のサイズに合わせて位置を調整します。

スプロケット（左右）の固定レバーを上げてロックを解除します。スプロケット（左）は、手前の目盛りを参考にして位置を決めてください。[0] の位置が印字開始位置です。[5] の位置に用紙端を合わせると印字領域の左端から印字ができます。位置を決めたら固定レバーを下げてロックします。スプロケット（右）は連続紙のピン穴の幅に合わせます。センターサポートを左右のスプロケットの中央に移動させます。

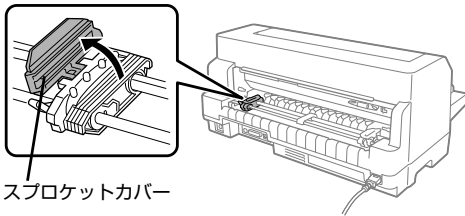


参考

ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

- ① 用紙のセット位置を確認します。
1 桁目の印字開始位置を目盛りの [0] に合わせてください。
- ② ソフトウェアのマージン(余白)設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

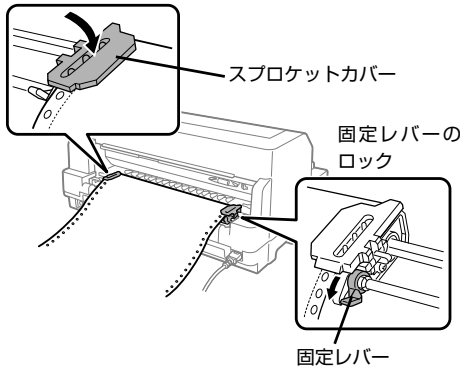
5 スプロケットカバーを開けます。



スプロケットカバー

6 連続紙をセットし、スプロケットを固定します。

連続紙のはじめの3つの穴をピンにはめます。スプロケット(左)のカバーを閉じてから、スプロケット(右)を動かして用紙のたるみを取り除きます。固定レバーを下に倒してロックします。



参考

連続紙をセットしているときに印刷データが送られると、スプロケットが動くことがあります。電源を切ってから用紙をセットすることで防ぐことができます。

7 **【印刷可】ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。**

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！重要

- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回して排紙したり、連続紙がプリンター内に給紙された状態でトラクターから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。
- 給紙されないときは、連続紙をセットし直してください。
- 給紙補助フィーダー(オプション)を装着時、連続紙のセット位置によっては、排紙する連続紙が給紙補助フィーダーに当たり、紙詰まりするのを防ぐため、連続紙を給紙しない場合があります。そのような場合は、連続紙のセット位置を調整してください。
- 斜めに給紙されたときは、プリンターの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。
- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。プリンターカバーが開くと、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンターカバーを閉じ、プリンターの電源を切って、約5秒後にプリンターの電源を入れてください。

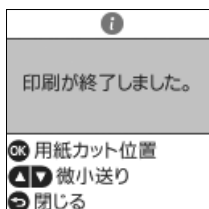
参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
 - プリンタードライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
☞「取扱説明書 詳細編」(PDFマニュアル) - 「Windowsで印刷する」 - 「設定項目」
 - DOS環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
☞「取扱説明書 詳細編」(PDFマニュアル) - 「プリンター設定値を変更する」 - 「操作パネルからの設定」
- ラベル紙のセット方法は、連続紙と同じです。

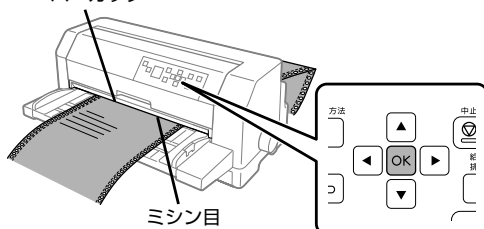
連続紙の排紙

連続紙はプリンターの前面から排紙されます。
ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

- 1 印刷が終了したら、[OK] ボタンを押して連続紙を用紙カット位置まで送り出します。切断するミシン目が用紙ガイドのペーパーカッターとずれているときは、▲ ボタンまたは▼ ボタンを押してミシン目位置を調整してください。



ペーパーカッター



参考

上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。設定方法はPDFマニュアルの以下のページを参照してください。

[取扱説明書 詳細編](#) (PDF マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「連続紙の切り離し (ティアオフ)」

- 2 印刷が終了したページをミシン目で切り離します。



次の印刷を行うと、連続紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

参考

電源を切るときは、[給紙 / 排紙] ボタンを押して連続紙をプッシュトラクター位置まで戻してください。給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをして、プリンター前面から排紙してください。ティアオフ機能は使用しないでください。

印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙を給紙口より手前で切り離し、[改行 / 改ページ] ボタンを押して排紙します。

重要

[給紙 / 排紙] ボタンを使用するなどしてラベル紙をプリンター後方より引き抜くとラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はプリンター前面から排紙してください。

単票紙の給紙と排紙

!重要

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンターの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
- プリンターの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンター内部に送る。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

単票紙は、用紙ガイドまたは給紙補助フィーダー（オプション）からの手差し給紙（1枚ずつ）と、カットシートフィーダー（オプション）からの連続給紙ができます。オプションの給紙補助フィーダーとカットシートフィーダーの取り付け、給紙方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

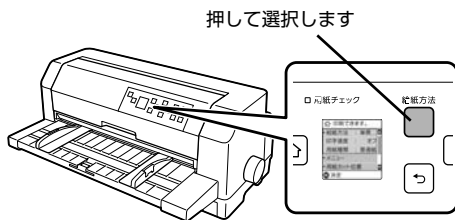
☞ 『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「給紙補助フィーダー」

☞ 『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」

単票紙

1 プリンターの電源を入れます。

2 【給紙方法】 ボタンを押して「単票紙 / CSF」を選択します。



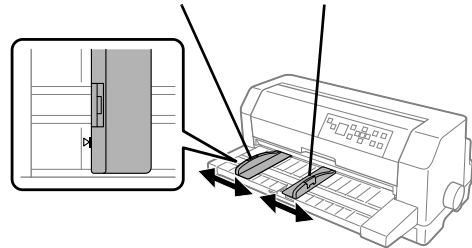
3 通常はヘッドギャップを【自動】に設定します。

☞ 本書 30 ページ「ヘッドギャップの設定」

4 エッジガイドのつまみをつまんで動かし、位置を調整します。

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（D）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

- ① つまみをつまんでマークに合わせます
- ② つまみをつまんで用紙のサイズに合わせます

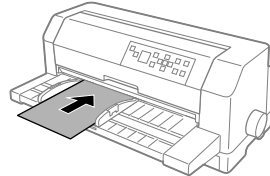


参考

エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を調整してください。

5 単票紙を手差し給紙します。

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

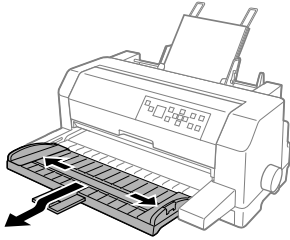


!重要

プリンターの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

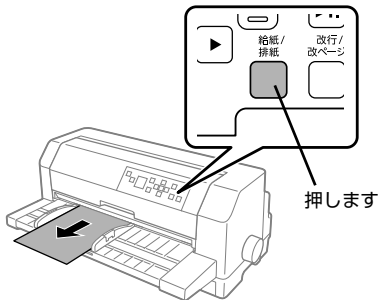
参考

- プリンタードライバー経由で印刷している場合は、ドライバーかお使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。
- カットシートフィーダー（オプション）にセットした単票紙に印刷する場合は、エッジガイドを左右いっぱいを広げてから用紙ガイドを引き出します。B4 縦長以上の長さの用紙の場合は、用紙サポートも引き出します。



6 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

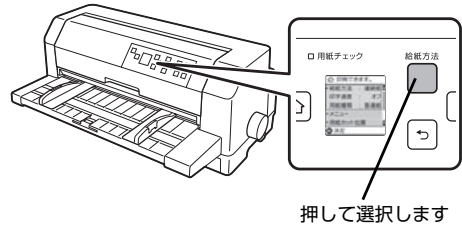
プリンター内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。



封筒、ハガキ

1 プリンターの電源を入れます。

2 [給紙方法] ボタンを押して「単票紙 / CSF」を選択します。

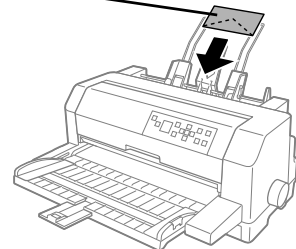
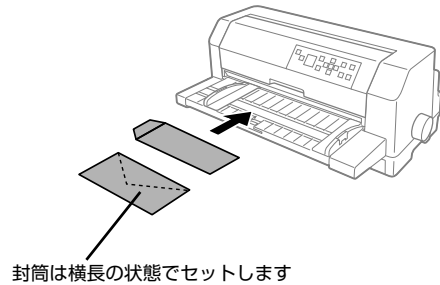


3 用紙種類の設定をします。

ホーム画面のショートカットメニューから、[用紙種類] を選択し、[ハガキ] または [封筒] を選択します。
☞ 本書 14 ページ「ホーム画面」

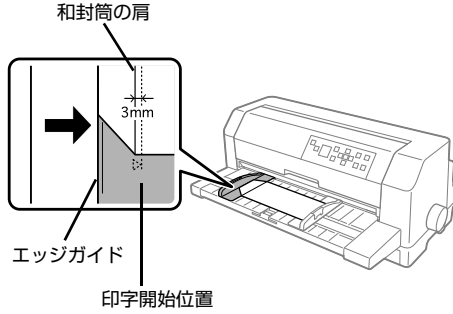
4 用紙ガイドまたはカットシートフィーダーにハガキまたは封筒をセットします。封筒は横長でセットします。

印刷面を上に向けて、先端が奥に当たるまで差し込みます。ハガキ・封筒は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。



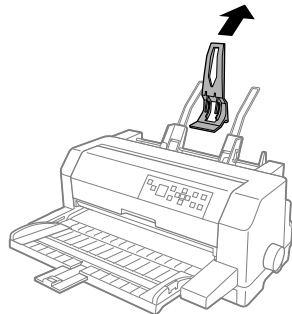
！重要

和封筒の表面に印字する場合は、印字開始位置が封筒の肩（フラップ部を除いた位置）から 3mm の場所になるように、エッジガイドの位置を調整してセットしてください。



参考

• ハガキをカットシートフィーダーにセットする場合は、センターサポートを取り外し、カットシートフィーダーのエッジガイドをハガキの幅に合わせて使用してください。



• 一部の封筒（長形 4 号、長形 3 号、角形 3 号、角形 2 号）は、カットシートフィーダーからは給紙できません。カットシートフィーダーで使用できる封筒は、洋形 2 号、洋形 5 号のみです。

5 印刷が終了するとハガキ・封筒は自動的に排紙されます。

プリンター内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。

連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクターに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

参考

プリンタードライバーで給紙装置を選択している場合は、以下の操作をしなくても、自動的に選択されている給紙装置に切り替わります。

連続紙から単票紙への切り替え

参考

連続紙の先端がプッシュトラクターの位置にある場合は、4 から進めてください。

1 連続紙の印刷が終了したら [OK] ボタンを押します。

連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。ティアオフ機能を自動に設定している場合は [OK] ボタンを押す必要はありません。

2 連続紙を切り離します。

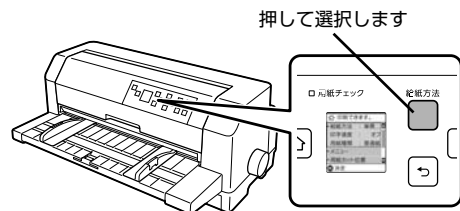
！重要

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こします。プッシュトラクターの位置で給紙前のラベル紙を切り離し [改行 / 改ページ] ボタンで排紙します。再びラベル紙を使用するときは、トラクターにセットし直してください。

3 [給紙 / 排紙] ボタンを押します。

セットした連続紙はプッシュトラクターの位置まで逆に戻りますが、プッシュトラクターからは外れません。

4 [給紙方法] ボタンを押して、「単票紙 / CSF」に切り替えます。



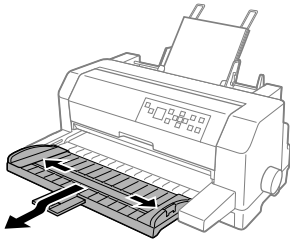
5 単票紙を用紙ガイドまたは給紙補助フィーダー、カットシートフィーダー（ともにオプション）のいずれかにセットします。

用紙ガイドにセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

☞ 本書 34 ページ「単票紙の給紙と排紙」

参考

カットシートフィーダー（オプション）にセットした単票紙に印刷する場合は、エッジガイドを左右いっぱいを広げてから用紙ガイドを引き出します。B4 縦長以上の長さの用紙をカットシートフィーダーにセットする場合は、用紙サポートも引き出してください。



6 印刷を実行します。

印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

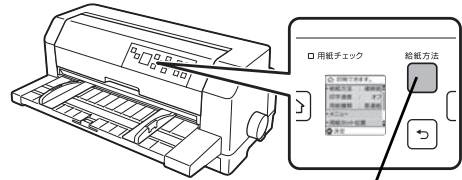
単票紙から連続紙への切り替え

1 単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。

印刷途中の用紙がプリンター内に残っている場合は、[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。

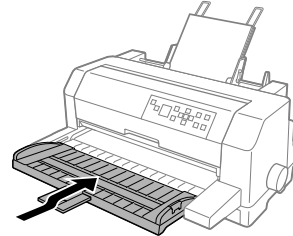
2 [用紙チェック] ランプが点灯している場合は、[印刷可] ボタンを押して、エラーを解除します。

3 [給紙方法] ボタンを押して、連続紙に切り替えます。



押して切り替えます

4 単票紙の印刷でカットシートフィーダー（オプション）を使用していた場合は、用紙ガイドと用紙サポートを元の位置に戻します。



5 印刷を実行します。

印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

!重要

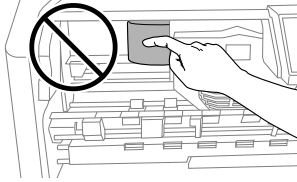
印刷データを送る前にプッシュトラクターに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

！重要

用紙を取り除くときに、プリンター内部の白いケーブルに触れないようにしてください。



参考

詰まった用紙の取り除き方はエプソンのホームページ (epson.jp) でもご案内しています。

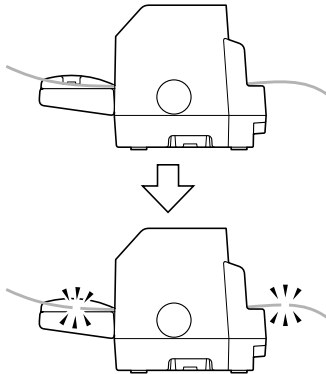
画面右上の検索欄に「紙詰まり VP-F4400」と入力すると、対象のFAQが表示されます。

また、操作パネルのエラー表示画面からQRコードを表示させ、説明を見ることもできます。

📖 本書 16 ページ「エラー表示画面」

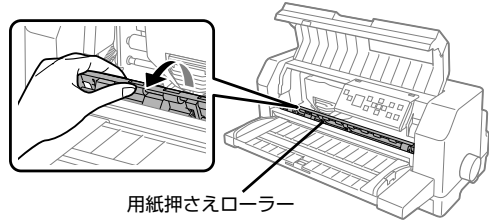
連続紙が詰まったときは

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 印字が完了している連続紙と給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。



- 3 両側のスプロケットカバーを開けて、用紙をスプロケットから外します。

- 4 プリンターカバーを開けて用紙押さえローラーを手前に起こします。

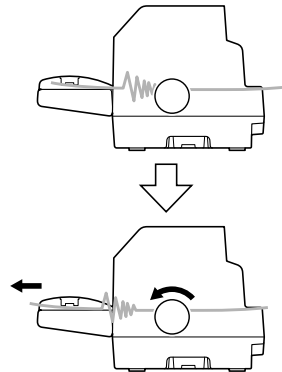


- 5 紙送りノブを手でゆっくりと回して詰まった紙を送り出しながら静かに引き抜きます。

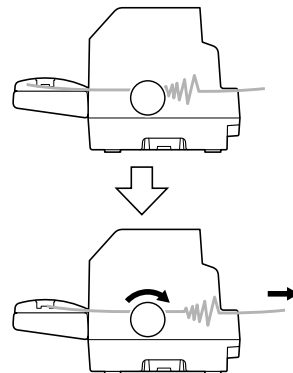
！重要

紙送りノブを回すときは、必ずプリンターの電源を切ってください。

排紙側（手前）で詰まったときは、紙送りノブを反時計回りに回します。



給紙側（後方）で詰まったときは、紙送りノブを時計回りに回します。

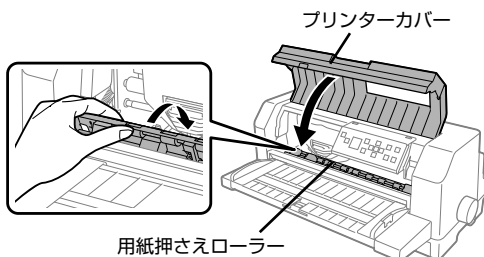


- 6** プリンター内部に用紙が残っていないか確認し、残っている用紙は取り除いてください。

⚠注意

プリンターを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

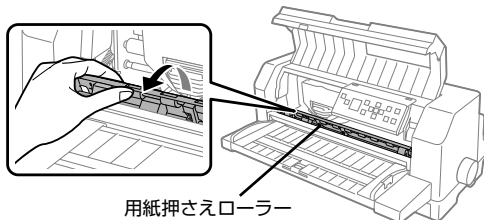
- 7** 用紙押さえローラーを戻してからプリンターカバーを閉じます。



- 8** 連続紙をセットし直します。
 ☞ 本書 31 ページ「連続紙の給紙と排紙」

単票紙が詰まったときは

- 1** プリンターの電源を切ります。
- 2** プリンターカバーを開けて用紙押さえローラーを手前に起こします。

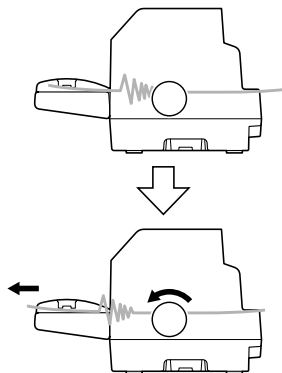


- 3** 紙送りノブを手でゆっくりと回して詰まった紙を送り出しながら静かに引き抜きます。

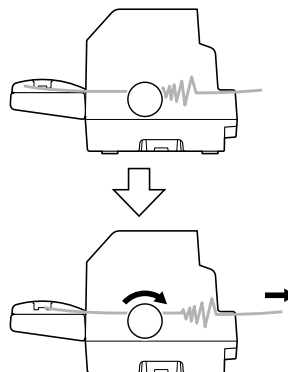
！重要

紙送りノブを回すときは、必ずプリンターの電源を切ってください。

手前で詰まったときは、紙送りノブを反時計回りに回します。



後方で詰まったときは、紙送りノブを時計回りに回します。

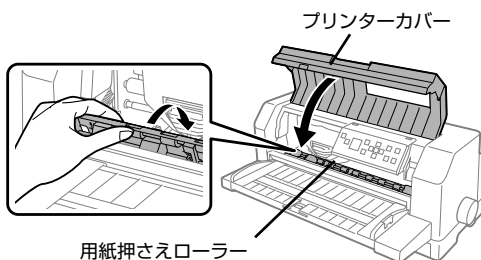


- 4** プリンター内部に用紙が残っていないか確認し、残っている用紙は取り除いてください。

⚠注意

プリンターを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

- 5** 用紙押さえローラーを戻してからプリンターカバーを閉じます。



- 6** 単票紙をセットし直します。
 ☞ 本書 34 ページ「単票紙の給紙と排紙」

カットシートフィーダーで用紙が詰まったときは

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 カットシートフィーダーをプリンターから取り外します。
☞『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「オプションと消耗品」 - 「カットシートフィーダー」 - 「取り外し方」
- 3 用紙を取り除きます。
給紙側で詰まった場合は後方に、排紙側で詰まった場合は前方に、つまりが解除できる方向に引き抜きます。
☞ 本書 39 ページ「単票紙が詰まったときは」
- 4 カットシートフィーダーをプリンターに取り付けてから用紙をセットし直します。
☞『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「オプションと消耗品」 - 「カットシートフィーダー」 - 「使い方」

給紙補助フィーダーで用紙が詰まったときは

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 給紙補助フィーダーをプリンターから取り外します。
☞『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「オプションと消耗品」 - 「給紙補助フィーダー」 - 「取り外し方」
- 3 用紙を取り除きます。
前面で詰まった場合は前方に、後方で詰まった場合は前後方に、つまりが解除できる方向に引き抜きます。
☞ 本書 39 ページ「単票紙が詰まったときは」
- 4 給紙補助フィーダーをプリンターに取り付けます。
- 5 単票紙をセットし直します。
☞『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「オプションと消耗品」 - 「給紙補助フィーダー」 - 「使い方」

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 29 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
☞ 本書 31 ページ「連続紙の給紙と排紙」
☞ 本書 34 ページ「単票紙の給紙と排紙」
- 用紙ガイドと給紙補助フィーダー（オプション）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダーに用紙をセットするときはセットされている用紙をすべて給紙してから新しい用紙をセットしてください（用紙の追加は重送*の原因となります）。
*重送： カットシートフィーダーからの給紙で複数枚の紙を送ってしまうこと
- 連続ラベル紙を使用する場合は、プリンター背面のプッシュトラクターから給紙します。
☞ 本書 31 ページ「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因となります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

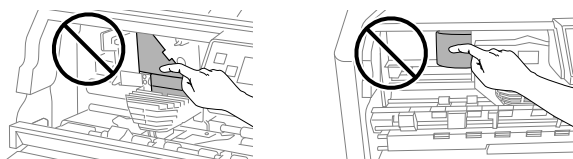
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

参考

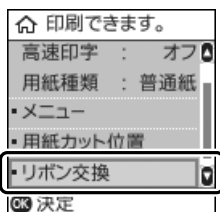
- リボンカートリッジは純正品（型番：VP4300LRC）のご使用をお勧めします。純正品以外のもをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- カラーリボンカートリッジ（型番：VP4000CRC）を装着してもモノクロ印刷しかできません。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンカートリッジの交換手順はエプソンのホームページ（epson.jp）でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ交換 VP-F4400」と入力すると、対象のFAQが表示されます。また、操作パネルのホーム画面から、QRコードを表示させ、説明を見ることもできます。
☞ 本書 14 ページ「画面の表示」

！重要

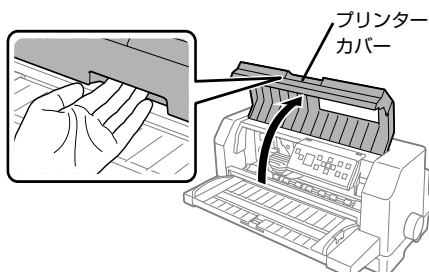
- プリンターの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。



- 1 電源が入っていることを確認して、ホーム画面で、[リボン交換] を選択します。画面の指示に従ってください。



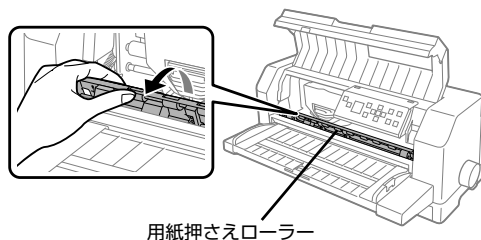
- 2 プリンターの電源を切ります。
- 3 プリンターカバーを開けます。



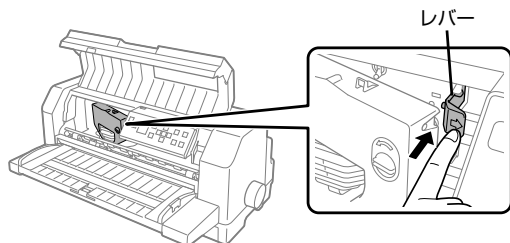
⚠注意

プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

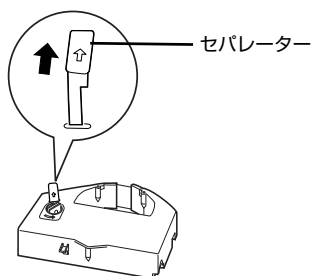
- 4 プリントヘッドがリボンカートリッジを取り付けやすい位置にあることを確認します。
- 5 用紙押さえローラーを手前に起こします。



- 6** リボンカートリッジを外します。
リボンカートリッジホルダーの右側にあるレバーを押さえながら、リボンカートリッジを手前に引くようにして外します。



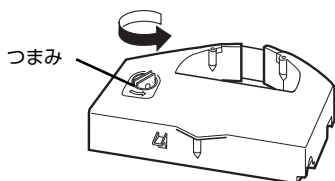
- 7** セパレーターが付いているタイプのリボンカートリッジの場合は、袋から取り出し、セパレーターを引き抜きます。
セパレーターが付いていないリボンカートリッジの場合は袋から取り出したら **8** へ進んでください。



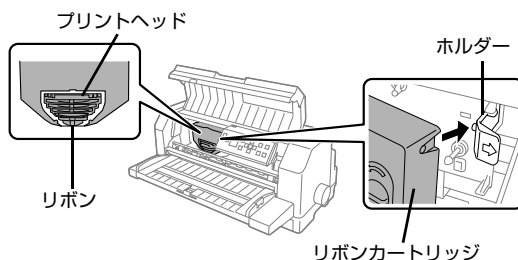
！重要

セパレーターにはインクが付着しています。皮膚や衣服を汚すおそれがありますので注意してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けんで洗い流してください。

- 8** リボンカートリッジのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

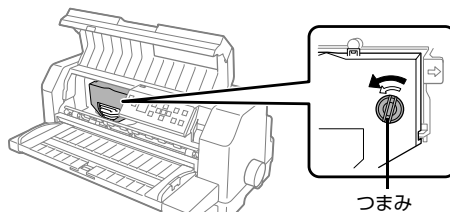


- 9** リボンカートリッジを取り付けます。
リボンカートリッジを両手で持ち、プリントヘッドの下にリボンを通します。
リボンカートリッジ両端の穴を、ホルダー左右の突起に合わせてゆっくり押し込みます。



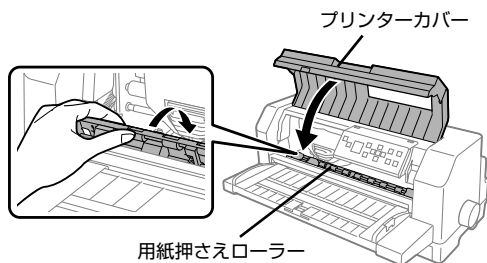
カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

- 10** リボンカートリッジのつまみを回して、リボンのたるみを取ります。



リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

- 11** 用紙押さえローラーを元に戻してから、プリンターカバーを閉じます。



参考

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。

< epson.jp/recycle/ >

使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。

廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

サービスとサポートのご案内

ここでは、『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）および『ネットワークガイド』（電子マニュアル）の紹介と入手方法、使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

電子マニュアルのご紹介、入手方法と使い方

『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンターを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- プリンター本体の設定変更に関する情報
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンター本体の仕様

『ネットワークガイド』（電子マニュアル）には本書に掲載されていない VP-F4400EN をお使いのお客様向けに以下のような情報が説明されています。

- ネットワークに接続するための設定などの準備作業
- ネットワークに接続する方法
- セキュリティー設定
- 困ったときの対処方法

電子マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のウェブサイトからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のウェブサイトでご確認ください。

電子マニュアルはエプソンのウェブサイトから入手してください。

- 1 以下のウェブサイトアクセスして、製品型番を入力して検索します。
< epson.jp/support/ >
- 2 製品のサポートメニュー一覧で「困ったとき・使い方・操作方法」を選択します。
- 3 「マニュアル一覧」でご覧になりたいマニュアルをクリックして表示します。
ダウンロードしてご覧になることもできます。

参考

PDF ファイルを開くと、画面左側に [しおり] があります。[しおり] の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、全てのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておく、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法の詳細は、PDF 閲覧ソフトウェアの [ヘルプ] をご覧ください。

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☎ 裏表紙「お問い合わせ先」
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のウェブサイトからダウンロードできます。	☎ エプソンのウェブサイト < epson.jp/support/ >
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されているマニュアルのPDFデータをダウンロードできます。マニュアルを紛失したときなどにご活用ください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください(2019年9月現在)。	☎ 裏表紙「お問い合わせ先」
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☎ 本書 46 ページ「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったウェブサイトとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は以下から行えます。
< myepson.jp/ >

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお問い合わせください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お問い合わせいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お問い合わせいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙「お問い合わせ先」をご覧ください）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守 契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預りして修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 (出張料 + 技術料 + 部品代) 修理完了後、その都度お支払いください
引取修理 (ドア to ドア)		<ul style="list-style-type: none"> ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 お引き取りから修理完了品お届けまでの日数は、最短で3日です。 修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。 	有償 (引取料金のみ) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 (引取料金 + 修理代金) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込 / 送付修理		お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預りして修理いたします。	無償	有償 (基本料 + 技術料 + 部品代) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

*消耗品（リボン、用紙など）は保守対象外です。

重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

—メモ—

—メモ—

—メモ—

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）

刑法第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準する限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。

ネットワーク設定の消去方法は以下をご覧ください。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブルを解決する」－「設定の初期化」

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インターネットへの接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

お問い合わせ先

アフターサポート・サービスのご案内

お問い合わせの前に



サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ (よくあるご質問)

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。



メールで相談する

epson.jp/mail/



電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8088

修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。 epson.jp/shuri/



出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Web で申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです (有償)。

Web で申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。



エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/



ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(SIDM) 2022.03